



2026
vol.8

赤十字しが



もっと伝えたい、滋賀の赤十字。

Contents

しがの赤十字活動レポート ～令和7年度滋賀県支部この1年～
令和7年度日本赤十字社滋賀県支部 決算のご報告
滋賀県支部は創立130周年を迎えました
いのちと健康を守る知識と技術の普及 赤十字講習会

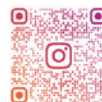


牛ハートラちゃん
(滋賀県ご当地ハートラちゃん)

滋賀県支部創立130周年記念広報動画
～誰もが、誰かのヒーローに～
YouTubeにて公開中



日赤滋賀県支部
公式Instagramは
こちら



NISSEHI.SHIGA

しがの赤十字活動レポート

4/13(日)

大阪・関西万博

人道のチカラを伝える「国際赤十字・赤新月運動館」を出版

日本赤十字社は、令和7年4月13日から10月13日まで開催された大阪・関西万博において「国際赤十字・赤新月運動館（赤十字パビリオン）」を出展しました。

「わたしの“できる”は、誰かのためになる。」をテーマに、来場者に赤十字活動の理解と人道的行動のきっかけを提供しました。本事業には、滋賀県支部をはじめ、県内赤十字施設の職員、赤十字ボランティア等、合わせて66人が参加し、心を一つにして運営に携わりました。



6/13(金)

いのちを救うために私たちができること

～救急法基礎講習会・救急員養成講習会を開催～

赤十字では、日常生活における事故防止の知識と思わぬ事故や災害にあった人に対して、医師や救急隊員に引き継ぐまでの救命・応急手当てを学ぶことができます。

大津赤十字病院で開催した救急法基礎講習では、心肺蘇生法や自動体外式除細動器（AED）の使い方、気道異物除去などの救命手当てを学ばれ、33人の基礎講習修了者（ベーシックライフサポーター）が誕生しました。また、14日・15日には、救急員養成講習を開催し、16人の赤十字救急法救急員（ファーストエイドプロバイダー）が誕生しました。



7/3(木)

迅速な災害対応、救援物資の新しい支援体制を構築

宮部運輸有限会社様と災害時の物資保管、搬送に関する協定を締結

滋賀県支部は宮部運輸有限会社様と救援物資等の保管及び災害時の搬送に関する協定を締結しました。

この協定は、災害時に日本赤十字社が配布する救援物資の毛布や緊急セット（タオルや歯ブラシ等）を長浜市・米原市を拠点とする宮部運輸有限会社様の倉庫に保管し、搬送方法を事前に定め、有事の際、滋賀県北部地域での迅速な対応を可能にするものです。

日本赤十字社では、今後も絶え間ない支援を行うため、救護体制の充実を図ってまいります。



7/3(木)

防災・減災の重要性を学ぶ

滋賀県立長浜北高等学校で赤十字防災セミナーを実施

今年度から青少年赤十字に加盟された長浜北高等学校において、生徒の皆さんに防災・減災の重要性を学んでもらうため、防災に関する講話を実施するとともに、滋賀県支部が所有するエアテントを設置し、テント内で防災グッズの展示・紹介を行いました。

講話やグッズの紹介等を通じて、防災・減災の重要性への理解を深めるとともに、赤十字活動についても関心を高めていただく機会となりました。





8/4(月)

参加者みんなが主役

青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターを開催

甲賀市勤労青少年ホームにおいて、リーダーシップ・トレーニング・センターを開催しました。

今年度は小・中・高校生あわせて76人とこれまでにない多くの参加者のもと、活気あふれる活動となりました。年齢の違いを超えて、参加者全員が協力し取り組むことができました。

参加した生徒からは、「トレセンでの経験をこれから家庭や学校で生かしたい!」という声が多く寄せられました。



11/9(日)

関係機関と連携し、現場での課題を共有

令和7年度大津市総合防災訓練に参加

令和7年度大津市総合防災訓練が開催され、大津赤十字病院・大津赤十字志賀病院の救護班は、大津市立日吉台小学校での土砂災害対応訓練に参加し、防災支援赤十字奉仕団は、日吉台市民センターでの災害ボランティアセンターの開設・運営訓練に参加しました。

救護班はテント内で救護所を展開し、DMATや消防と連携して救助された傷病者の救護活動にあたりました。災害ボランティアセンターの開設・運営訓練では、各関係機関と協力しながら、運営を行うことができました。



11/17(月)

困っている人に寄り添う活動をこれからも

赤十字奉仕団結成75周年記念 滋賀県赤十字奉仕団表彰式を開催

滋賀県支部では、赤十字のボランティア組織である地域赤十字奉仕団が結成75周年を迎えたことを記念し、「赤十字奉仕団結成75周年記念 滋賀県赤十字奉仕団表彰式」を開催しました。

本大会では日々、地域のために奉仕活動に取り組んでくださっている奉仕団および、その活動に顕著な功労があった奉仕団員への表彰や、認定NPO法人Homedoor（ホームドア）の理事長である川口加奈氏の特別記念講演が行われました。



12/13(土)

私たちにもできることがある

「NHK海外たすけあい」キャンペーン募金活動を実施

日本赤十字社では、例年12月1日から25日まで世界各地の紛争や自然災害、病気で苦しむ人々への支援のため「NHK海外たすけあいキャンペーン」を実施しています。

キャンペーン期間中、滋賀県支部では青年赤十字奉仕団が街頭募金を行いました。

寒い中で呼びかけでしたが、募金活動に参加した奉仕団員は、「多くの方々からの募金と温かい声をかけてもらえてうれしかった。」「初めて募金活動に参加した。誰かの役に立てることに喜びを感じた。」と感想を述べていました。



令和7年度

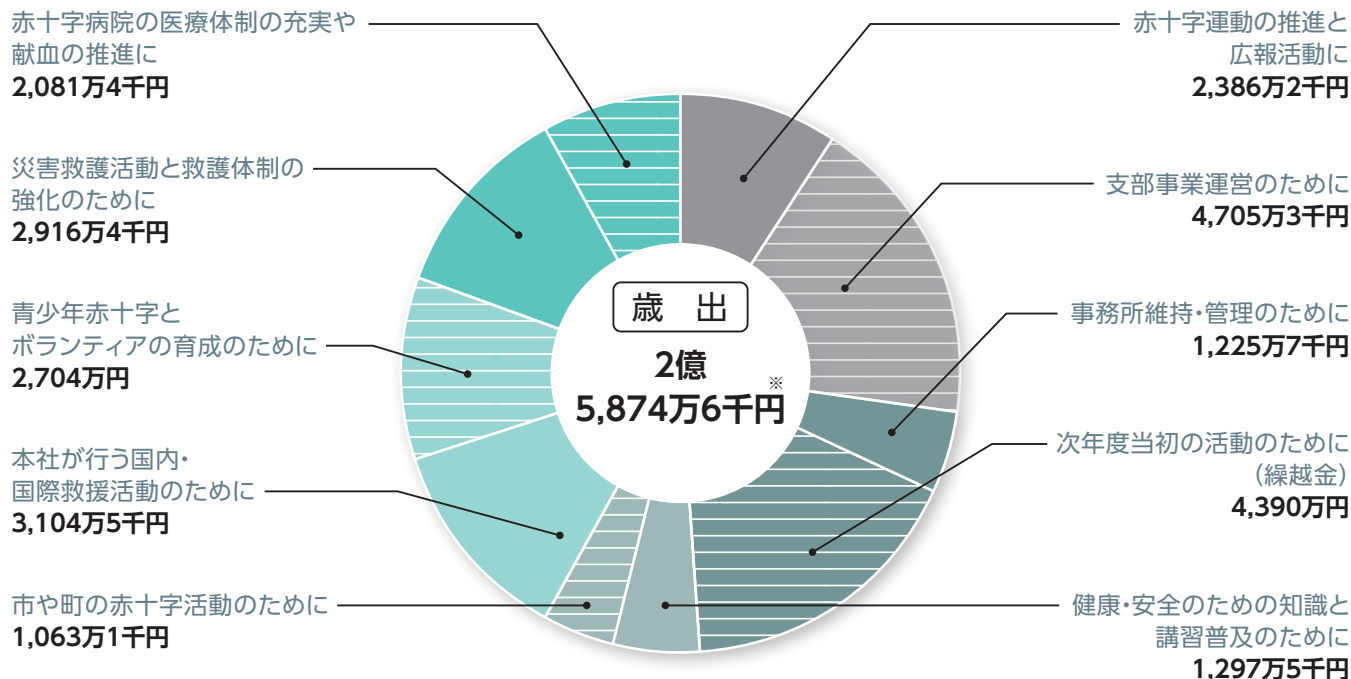
日本赤十字社
滋賀県支部

決算のご報告

歳入

活動資金収入 …… 2億829万2千円
その他の収入 …… 5,045万4千円

歳入合計 …… 2億5,874万6千円



※ 千円未満を切り捨てているため、円グラフの合計金額と各項目の合計金額は一致しません

活動資金ご協力法人・団体のご紹介

日本赤十字社滋賀県支部の活動は、皆さまのご支援に支えられています。
活動資金のご協力、誠にありがとうございます。

- | | | |
|---------------------|----------------------|---------------------|
| ・株式会社セレマ | ・宮部運輸有限会社 | ・アクア株式会社 |
| ・有限会社川端電工社 | ・株式会社大鳥居製作所 | ・近江ユニキャリア販売株式会社 |
| ・株式会社東洋石創 | ・有限会社岡田工業 | ・有限会社天平フーズ |
| ・花文造園土木株式会社 | ・株式会社フルマネジメントイノベーション | ・大幸生コン株式会社 |
| ・甲賀高分子株式会社 | ・医療法人湖葉会 | ・株式会社近江潜建 |
| ・株式会社ジーテクト | ・株式会社久木野工務店 | ・フォアグラウンド合同会社 |
| ・ルミフィールドジャパン株式会社 | ・滋賀県税理士協同組合 | ・有限会社土田商店 |
| ・医療法人信耳会 | ・堅田電機株式会社 | ・駒井電気工事株式会社 |
| ・株式会社国本土建 | ・あさの内科クリニック | ・島津プレジジョンテクノロジー株式会社 |
| ・株式会社斉戸電気商会 | ・厨房機器センターエコプラン | ・レントリー滋賀株式会社 |
| ・株式会社GRIP'Sホールディングス | ・株式会社びわ湖タイル | ・有限会社三王都市開発 |
| ・株式会社ヤサカ | ・株式会社リーフ | ・株式会社湖東総合システム |
| ・株式会社西寄組 | ・株式会社佐藤医科器械製作所 | ・有限会社レークサイドガード |
| ・株式会社GROWRISE | ・日本生命保険相互会社滋賀支社 | ・有限会社須戸電設 |
| ・医療法人宮本クリニック | ・近畿化学工業株式会社 | ・JAしが女性協議会 |
| ・株式会社イチダ | ・株式会社近畿理研 | ・株式会社エクシード |

※令和7年度中に5万円以上の活動資金をお寄せいただき、掲載をご了承いただいた法人・団体のみ掲載しております。
上記以外に33社・団体の皆さまからもご支援をいただきました。
(敬称略・順不同)

滋賀県支部は創立130周年を迎えました



① 1905 (明治38) 年頃の滋賀県支部

滋賀県支部は1895 (明治28) 年4月に設立して以来、県民の皆さまに支えられ、戦時・災害時の救護活動から、戦後の安否調査、また災害時や突然の事故・病気の際に役立つ救急法等講習の普及など、「いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守る」活動に取り組んでまいりました。

これまで受け継がれてきた思いを未来につなぎ、これからもいのちを守り続けます。



⑤ 瀬田川鉄橋上急行列車転覆



⑨ 西宮市高木小学校での巡回診療



② 虎姫町五村の臨時救護所



⑥ 戦地へ派遣された医師と看護婦



⑩ 発災直後の避難所にかけつけた救護班 (宮城県多賀城市)



③ 少年赤十字団の結成式 (守山尋常高等小学校)



⑦ 朽木村針畑方面に向かう巡回診療

⑪ 大津市田上地区での巡回診療



④ 敦賀衛成病院での救護活動



⑧ 被災者を手当する救護員



⑫ 新型コロナウイルス感染症への対応を行う看護師



⑬ 輪島市の避難所で活動する救護班

**赤十字の事業は、県民の皆さまからの活動資金によって支えられています。
どうか、引き続き赤十字活動へのご支援をお願い申し上げます。**

1895 (明治28) 年4月

・日本赤十字社滋賀支部設立 ①
※昭和28年日本赤十字社滋賀県支部と改称

1904～1906

(明治37～39) 年

・日露戦争に支部救護員65人を派遣

1909 (明治42) 年8月

・姉川地震で救護員34人を派遣 (救護患者4,497人) ②

1914 (大正3) 年11月

・第一次世界大戦に支部が医師1人、看護婦1人をパリへ派遣

1922 (大正11) 年5月

・日本最初の少年赤十字の取り組みが守山市内の小学校で始まる。③

1923 (大正12) 年9月

・関東大震災で救護員32人を派遣 (救護患者9,389人)

1927 (昭和2) 年3月

・北丹地震で救護員28人を派遣 (救護患者3,681人)

1928 (昭和3) 年5月

・百瀬村 (現高島市マキノ) 火災で救護員4人を派遣 (救護患者17人)

1930 (昭和5) 年4月

・石山駅列車転覆事故で救護員4人を派遣 (救護患者7人)

1932 (昭和7) 年4月

・満州事変、上海事変に救護員21人を派遣 (救護患者362人) ④

1934 (昭和9) 年9月

・室戸台風で救護班10個班を派遣 ⑤
(瀬田川鉄橋上急行列車転覆、栗太郡山田村小学校倒壊)

1937～1945

(昭和12～20) 年

・日華事変から太平洋戦争終結までで救護員854人を派遣 ⑥

1946 (昭和21) 年7月

・東海道線能登川・安土間での列車転覆事故で救護班3個班を派遣

1953 (昭和28) 年9月

・台風13号で救護活動 ⑦

1959 (昭和34) 年9月

・伊勢湾台風で救護活動 ⑧

1961 (昭和36) 年9月

・第2室戸台風で救護活動

1991 (平成3) 年5月

・信楽高原鉄道列車衝突事故で救護員16人を派遣・救援用毛布100枚を急送

1995 (平成7) 年1月

・阪神淡路大震災で救護員331人を派遣 (救護患者1,660人) ⑨

2004 (平成16) 年10月

・新潟中越地震で救護員24人を派遣 (救護患者161人)

2009 (平成21) 年8月

・兵庫県佐用町水害で救護員8人を派遣 (救護患者59人)

2011 (平成23) 年3月

・東日本大震災で救護員104人を派遣 (救護患者1,206人) ⑩

2013 (平成25) 年9月

・滋賀県台風18号災害で救護員12人を派遣 (救護患者6人) ⑪

2016 (平成28) 年4月

・熊本地震災害で救護員等62人を派遣 (救護患者144人)

2018 (平成30) 年6月

・米原市竜巻災害で救護員8人を派遣 (救護患者4人)

2018 (平成30) 年7月

・7月豪雨災害で救護員等23人を派遣 (救護患者80人)

2020 (令和2) 年1月

・新型コロナウイルス感染症への対応が始まる ⑫

2024 (令和6) 年1月

・能登半島地震災害で救護員等157人を派遣 (救護患者182人) ⑬



いのちと健康を守る知識と技術の普及

赤十字講習会

いざというときに自分自身の身を守り、
身近な人のいのちと健康を守るため、救急法などの講習会を開催しています。

滋賀県支部が実施する講習のご案内

家族が突然倒れた！何かできることは？

日常生活における事故防止や手当ての基本、胸骨圧迫や人工呼吸の方法、AEDを用いた電気ショック、止血の仕方といった応急手当の方法などの知識と技術を学びます。



救急法



水について正しく学び、事故を防ぐ！

水と親しみ、水の事故から人命を守るため、泳ぎの基本と自己保全、事故防止、溺れた人の救助、応急手当の方法などの知識と技術を学びます。



水上 安全法



大切に育てるための手当てを学ぼう！

子どもを大切に育てるために、乳・幼児期に起こりやすい事故の予防とその手当て、かかりやすい病気と発熱・けいれんなどの症状に対する手当てなどの知識と技術を学びます。



幼児 安全法



人生100年時代！いつまでも健康でいよう

誰もが迎える高齢期を、健やかに生きるために必要な健康増進の知識や高齢者の支援・自立に向け役立つ介護技術を学びます。



健康生活 支援講習



赤十字講習は100周年を迎えました！

日本赤十字社は、災害救護のノウハウの一部を一般市民の方にも共有することによって、より多くのいのちを救おうと、1926年(大正15年)から講習事業を開始。

今年は講習事業を開始して100年目の年です。現在までに、のべ2,071万人の方が受講しています。



詳細については、日本赤十字社滋賀県支部のホームページをご覧ください。



講習会については
こちら



日本赤十字社 滋賀県支部
Japanese Red Cross Society

〒520-0044 大津市京町4丁目3番38号
TEL 077-522-6758 FAX 077-523-4502
<https://www.jrc.or.jp/chapter/shiga/>

